

琉球泡盛海外輸出 プロジェクト 行動計画（改定案）

2018 年 3 月 7 日

2019 年 4 月 14 日改定

2020 年 4 月 10 日改定

2020 年 10 月 19 日一部改定

2021 年 4 月 5 日改定

2023 年 月 日改定

1. 行動計画

【現状と課題】

泡盛製造業は、沖縄の貴重な地場産業として、雇用の確保や地域経済の振興等に重要な役割を果たしています。

しかし、沖縄県酒造組合、泡盛酒造所を始めとする泡盛製造業関係者による、琉球泡盛の消費拡大に向けた取組みにもかかわらず、近年、出荷数量が減少傾向にあるなど、厳しい状況に置かれています。

こうした中で、2018年4月、これまで、国、県、関係団体がそれぞれに支援してきた琉球泡盛の輸出に向けた取組みを官民一体となって推進促進するため、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げ、琉球泡盛の輸出拡大への課題に取り組み、泡盛酒造所の海外輸出に向けた取組みを官民一体となって後押ししてきました。

その結果、2019年には21社の酒造所が琉球泡盛の海外輸出を行い、総輸出量が約44キロリットルと、2017年の29キロリットルと比べて約1.5倍にまで増加するなど、取組みの成果は着実にあがってきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、2020年は約36キロリットルに減少する結果となりました。その後、2021年は、コロナ禍において国内の移出数量が減少するなか、輸出数量は約66キロリットルと約1.8倍に復調し、過去最高となりました。さらに2022年は未確定ながらも前年を上回る見込み

となるなど、泡盛の輸出数量は順調に伸びていますが、2024 年の輸出数量 100 キロリットルを達成するためには、以下の取組みを着実に進める必要があります。

なお、従来、アルコール度数が 45 度を超える泡盛は「原料用アルコール」と表示することが義務付けられていましたが、2020 年 4 月からは例外として 45 度を超える泡盛製品も「泡盛」と表示することができるようになりました。このことは、「原料用アルコール」という表示のため、「工業製品」のイメージもあった 45 度を超える高度数の「泡盛」の消費拡大、輸出数量増加の一因となったと考えられます。

また、「泡盛」として表示、販売されているものではありませんが、泡盛を原料とするリキュールについては、既に 2021 年には輸出数量が 100 キロリットルを超えるなど、泡盛関連酒類の輸出数量についても順調に伸びているところです。

【プロジェクトの取組み】

「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」では、引き続き、琉球泡盛の輸出拡大への課題に取り組み、泡盛酒造所の海外輸出に向けた取組みを官民一体となって後押ししていきます。

2020 年来、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大に伴う活動の制約が余儀なくされています。しかしながら、このような状況は様々な業界に等しく振りかかっているといえ、いわば各業界が同じスタートラインに立っているともいえます。この状況をチャンスととらえ、また、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略～マーケットイン輸出への転換のために～」(2020 年 12 月 15 日農林水産業・地域の活力創造本部決定)において、本格焼酎・

泡盛が輸出の重点品目の一つとして選定されたことも踏まえると、よりターゲットを明確にした積極的な取組みが必要となります。

国内外の状況も踏まえつつ、2023 年以降の輸出量を最大限増加させるべく、これまでの「訪日外国人に対する視点」、「海外市場に対する視点」、「具体的な商流につなげるビジネスの視点」といった3つの視点での取組みの強化・深化を進めていくとともに、引き続き非対面・遠隔での取組みも推進していきます。

①訪日外国人に対する視点

「本格焼酎・泡盛の輸出基本戦略」（2021 年 3 月日本酒造組合中央会）にあるように、インバウンド（訪日観光客や在日外国人）への対応は、将来の輸出に結び付く可能性が高いことから、酒蔵ツーリズム®分野における取組みを進めていきます。

さらに、外国人が現地で「泡盛ファン」（＝インフルエンサー）、「泡盛ジンブナー」（＝泡盛大使）として、琉球泡盛の普及につなげることができるよう、現地での情報提供や、提供者・販売者への支援に向けて取組みを進めていきます。

②海外市場に対する視点

琉球泡盛は、ウオッカ、ジン、テキーラなどと並んで、世界的な「ハードリカー」としての可能性が秘められています。琉球泡盛の北米、欧州の市場への浸透を図るために、「テロワール」や、空手や琉球料理を始めとする沖縄の歴史や文化も含め、ターゲットを絞ったプロモーションを進めることにより、琉球泡盛の認知度向上に向けた取組みを進めていきます。

③具体的な商流につなげるビジネスの視点

琉球泡盛の海外での販路拡大に向けて、インポーターやディストリビューターなど輸出入のノウハウ・販路を有する様々なビジネスセクターと泡盛事業者とのマッチングといったビジネスサイドが主体となった取組みを促進していきます。

【会員の取組】

プロジェクト会員は、3つの視点を踏まえながら相互に連携し、それぞれが以下の取組みを行います。

（１）情報発信の強化

- ・ 沖縄県酒造組合の公式サイト「琉球泡盛」で、インバウンドの観光客及び海外消費者を対象に、琉球泡盛の基礎的な情報を伝えるための、多言語対応した酒造所ごとの紹介PV動画とともに、各地域と各酒造所を組み合わせたオンライン観光施策など、オンラインとオフラインを結びつけるコンテンツの発信に努めていきます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 海外プロモーション事業において、琉球泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）
- ・ 国税庁等の施策において、酒造技術の専門家である鑑定官をプロジェクト会員が所属する機関が実施するセミナー等に講師派遣し、琉球泡盛の歴史や製法等、施策の目的に沿った説明を実施することで情報発信の強化を図ります。（国税庁、沖縄国税事務所）

- ・あらゆる機会を捉えて、プロモーションのターゲットを絞って琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることで、琉球泡盛の国際的認知度を向上させ、販路開拓につなげます。（国税庁、沖縄国税事務所）
- ・海外の酒類関連見本市・商談会への出品や、日本国内（特に沖縄）への海外バイヤー招へいの機会等を活用して、琉球泡盛の海外情報発信を強化し、琉球泡盛の輸出促進を図ります。（（独）日本貿易振興機構）
- ・各海外事務所及び委託駐在員のネットワークを活用し、現地における琉球泡盛に関する情報発信を積極的に行います。（（公財）沖縄県産業振興公社、沖縄県）
- ・ポータルサイト等を活用し、本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行います。（プロジェクト事務局）
- ・国際大会・イベントを通じ、琉球泡盛の情報発信を行います。（沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）

（２）効果的な販路拡大・市場拡大

- ・インバウンドの観光客や在沖外国人を主体とした国別客層ペルソナ調査分析について、泡盛業界のブランディングについてグランドデザインを作成し、泡盛業界の課題や将来の方向性、また中長期戦略の整理などを行ったうえで、再度、国別客層ペルソナ調査分析を検討します。（沖縄県酒造組合）
- ・各国のバイヤーが来場する大型酒類展示見本市として、ツーリズム EXPO をはじめ、フーデックス（酒造組合中央会枠で出展）や沖縄の大交易会などへ出展及び調整を図っていきます。（沖縄県酒造組合、沖縄県）

- ・ インバウンド観光客に向けた、琉球泡盛の普及啓発及びブランド向上を促すために、泡盛タイアップ施策（泡盛ツーリズム）を行います。（沖縄県酒造組合）
- ・ 沖縄国際物流ハブ活用推進事業、沖縄大交易会、海外事務所による現地サポートなど沖縄県産業振興公社の有する中小企業支援メニューを最大限活用し、泡盛酒造所の海外展開・市場拡大を支援します。（（公財）沖縄県産業振興公社）
- ・ 海外プロモーション事業において、琉球泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）【再掲】
- ・ 台湾での泡盛取扱い業者への輸出とその業者と県内メーカーとの調整を行います。（（株）沖縄県物産公社）
- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）
- ・ 沖縄県産酒類に係る酒税の軽減措置が段階的に縮小、廃止されることになり、まず令和5年10月からアルコール度数が45度を超える「泡盛」（原料用アルコール）等の軽減率が引き下げになることを踏まえ、これらの酒類を対象として、海外販路開拓・拡大のための市場調査や消費者動向調査等を実施します。（内閣府沖縄振興局）
- ・ 併せて、軽減措置が適用されている全ての製造業者への実態調査を行い、海外展開等の要望についても把握し、対応策を検討します。（内閣府沖縄振興局）

- ・ 沖縄総合事務局が有する支援メニューの活用、関係機関との連携を行い、海外への販路拡大を図る企業の取組みを支援します。(内閣府沖縄総合事務局)
- ・ 輸出に積極的な泡盛事業者に対し、琉球泡盛を効果的に PR できる国際的な酒類展示見本市への出展支援を行い、海外バイヤーとの輸出取引成立に向けた支援も行うことで販路拡大を図ります。(国税庁)
- ・ 海外の酒類関係者に対して、オンライン等を活用し、琉球泡盛の魅力等を伝えます。更に、海外での消費者向けプロモーションを開催し、琉球泡盛の認知度向上・市場拡大に繋がります。(国税庁、沖縄国税事務所)
- ・ 輸出関心事業者に対し、海外見本市への出展、国内外の商談会の開催、サンプル展示ショールームの設置、セミナー開催、専門家による相談対応等による輸出の成約に向けた取組みを支援します。(農林水産省、(独)日本貿易振興機構)
- ・ 泡盛業界の関心の特に高い国・地域等を対象に、セミナー等による情報提供や展示会・商談会出品支援に取り組みつつ、特に個社支援を強化することで琉球泡盛の着実な輸出増加を図ります。((独)日本貿易振興機構)

(3) 品質・技術の向上／人材の育成

- ・ 琉球泡盛の魅力を的確に伝えられるとともに、狙った香味を作り出すことができる人材を育成するため、国税事務所鑑定官の協力のもと、より効率的な官能講座実習を開催することなどにより、琉球泡盛の香味を正確に識別判断(「香味の可視化」)できる人材育成を行います。(沖縄県酒造組合)

- ・ 海外市場における琉球泡盛の認知度を向上させるためには、魅力的で現場ニーズに即したプロモーションや PR 手法が必要になる。現地の動向把握や琉球泡盛のブランディング戦略策定、リアルとオンラインによる展示会・商談会を実践(OJT)し、知識と技術の定着を図り、海外市場を開拓できる人材育成を行います。(沖縄県酒造組合)
- ・ 酒類販売業者に対する研修や意見交換等の実施により、外国人に対する販売力の強化に取り組みます。(沖縄県卸売酒販組合、沖縄県小売酒販組合、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所)
- ・ 品質評価を通じて、泡盛酒造技術の発展及び品質の向上を図るとともに、その結果を国内外の消費者に対して公表し、その他にも消費者に対して有用な情報を多言語発信します。(沖縄国税事務所)
- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。(沖縄振興開発金融公庫)【再掲】

(4) ブランド力の向上

- ・ 琉球泡盛の価値を明確化し、組合員へ一貫した取組みを促していくことで、琉球泡盛の「ブランディングの基礎構築」に取り組んでいきます。(沖縄県酒造組合、沖縄県)
- ・ 地理的表示（琉球）を活用したブランド力向上を図る普及啓発活動を行います。(沖縄県酒造組合、国税庁、沖縄国税事務所)

- ・ 海外市場における嗜好・ニーズを的確に把握するとともに、海外のニーズも踏まえた商品のブランド化等を通じ、輸出に積極的にチャレンジする琉球泡盛製造業者等の取組みを支援します。（国税庁、沖縄国税事務所）
- ・ 古酒の更なるブランド力向上を推進していくために、古酒の魅力の情報発信を実施していきます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 琉球泡盛と酒器との繋がりを体験してもらうための、那覇市壺屋での「やちむん祭り」と、タイアップを行い、歴史文化の側面から泡盛の普及啓発を促していきます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）【再掲】
- ・ 在外公館では、会食、レセプション、文化事業等の機会を捉え、琉球泡盛のPRを行います。また、琉球泡盛に特化した事業の企画・実施に取り組みます。また、本省では、在外公館からレセプション等開催に際した琉球泡盛を含む日本産酒類の調達希望を受け、コンクール受賞酒等を調達・送付します。（外務省）
- ・ 琉球泡盛の国内外・老若男女への普及促進に向け、PR、プロモーション等他関係先・弊社グループ各社との連携を含め、エアラインとしてのノウハウやツールを活用しつつ施策の展開を図ります。（日本トランスオーシャン航空（株））
- ・ 琉球泡盛のブランド価値を高め、その魅力をPRするために、テロワール（地域に根ざした原料調達）を推進します。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、

沖縄県、JA おきなわ、JA 沖縄中央会、沖縄県酒造組合、農林水産省農産局、農林水産技術会議事務局)

- ・ 県産長粒種米により製造される琉球泡盛を活用し、海外での琉球泡盛の認知度を向上させるため戦略的なプロモーションを実施します。(内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県酒造組合)
- ・ 日本遺産「琉球王国から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして芸能」を活用し、歴史的、文化的な側面から泡盛の認知度向上を図る取組みを進めていきます。(沖縄県)

(5) 輸出環境の整備

- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。(沖縄振興開発金融公庫)【再掲】
- ・ 輸出の妨げとなっている各国・地域の関税・非関税障壁の削減・撤廃等や地理的表示の保護に向けて関係省庁で連携して取り組みます。(外務省、国税庁)
- ・ 中国への「琉球泡盛」商標登録の手続きについて取り組んでいきます。(沖縄県酒造組合)

(6) インバウンドとの連携

- ・クルーズ船内で、クルーズ客を対象とした「琉球泡盛講座」を開催し、琉球泡盛への理解促進と琉球泡盛の購入促進に取り組みます。(沖縄県酒造組合)
- ・泡盛ツーリズムと地域の観光資源を組み合わせた有料商品・コンテンツのモニタープログラムを実施するなど、観光客を対象に、観光地域づくり法人(DMO)との連携施策を図った包括的な酒蔵ツーリズムに取り組みます。(沖縄県酒造組合)
- ・海外プロモーション事業において、琉球泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。((一財)沖縄観光コンベンションビューロー)【再掲】
- ・外国人観光客に対する琉球泡盛の普及拡大等の取組みについて、沖縄県と沖縄県酒造組合とが共催する泡盛振興推進部会の構成団体((公財)沖縄県産業振興公社、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー等)と連携することにより、沖縄県酒造組合が実施する事業をより効果的に進めていきます。(沖縄県)
- ・琉球泡盛等の酒類を含め、様々な観光資源で活用できる事業等、インバウンドの本格的な回復に向けて集中的な取組を実施します。(観光庁)

2. 具体的な行動

- ・プロジェクト会員は、それぞれ「1. 行動計画」に記載した内容を実現するため、以下のとおり具体的な行動を実施します。

(1) 情報発信の強化

	支援メニュー	概要	2021 年度	2022 年度	2023 年度	問い合わせ先
	【団体名】					
1	消費者向け提案型集約サイトを確立 【沖縄県酒造組合】	ポータルサイトの改修によりスマホ対応や、多言語対応、また各酒造の提供コンテンツをまとめた、消費者向けの提案型集約サイトを確立。	視聴機会の獲得を増やしていくために情報発信施策（SNS 等の広告及びリンクと併せた情報発信）や、特にアメリカ・中国・香港・台湾などの戦略的重点地域に対して視聴しやすい環境を整えた。また中国語については、現地で閲覧可能なサイトとの連携を図った。 ※2021 年度文化庁の文化財多言語解説整備事業（公募事業）を活用して、唯一の文化財施設である津嘉山酒造のインバウンド向けコンテンツ作りを行った。	視聴機会の獲得を増やしていくために情報発信施策（SNS 等の広告及びリンクと併せた情報発信）や、特にアメリカ・中国・香港・台湾などの戦略的重点地域に対して視聴しやすい環境を整えた。また中国語については、現地で閲覧可能なサイトとの連携を図った。	視聴対象地域を意識した上での実行施策を検討していく。 ※これからのオンラインとオフラインのすみ分けを考慮したサイト内での企画設計を充実させていくことを検討。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

2	観光客に向けた情報発信【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	観光情報発信を目的とする多言語パンフレット、多言語 WEB、多言語 SNS 等において琉球泡盛の紹介を行う。	沖縄の観光コンテンツの情報をオンラインで発信する際に、琉球泡盛古酒の魅力を特集。沖縄国税事務所が実施した泡盛動画などを SNS でシェアするなど拡散に努めた。	沖縄の観光コンテンツの情報をオンラインで発信する際に、琉球泡盛の魅力等の特集することを検討。	沖縄の観光コンテンツの情報をオンラインで発信する際に、琉球泡盛の魅力等の特集することを検討。	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
3	海外のイベント等での情報発信【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	海外で実施する各種イベント、旅行博覧会、商談会、観光物産連携事業、沖縄ナイト等において、琉球泡盛の紹介を行う。場合によっては琉球泡盛の試飲も実施する。	海外で開催された旅行社・メディア向けセミナーにおいて琉球泡盛の紹介を行った。	海外で開催された旅行博、地域紹介イベント等において琉球泡盛に関する動画の放映や紹介、試飲を実施。 海外旅行会社を招聘した FAM ツアーにおいて琉球泡盛を積極的に紹介した。	海外で開催される旅行博、地域紹介イベント等で琉球泡盛の動画放映及び紹介を検討。 旅行会社へのウェビナー等オンラインを活用し積極的に紹介していく。	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
4	インフルエンサー等による情報発信【内閣府】	クールジャパン・プロデューサー、クールジャパン広報大使を活用し、琉球泡盛の魅力（歴史や文化、製造方法、飲み方等）を広く国内外に発信。	琉球泡盛の魅力を国内外へ発信するため、SNS の他、クールジャパンアンバサダーを活用。	琉球泡盛に関する情報をクールジャパンアンバサダー等に適宜提供するとともに、SNS 等を活用して魅力を発信。	引き続き、琉球泡盛に関する情報をクールジャパン・プロデューサー、クールジャパン広報大使に適宜提供するとともに、SNS 等を活用して魅力を発信。	【内閣府】 知的財産戦略推進事務局 03-3581-4225

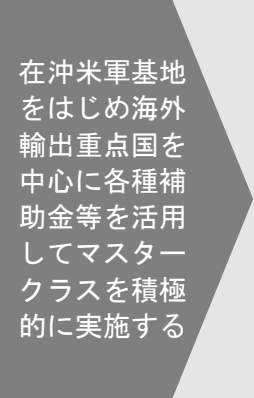
5	各種施策における鑑定官の講師派遣 【国税庁、沖縄国税事務所】	国税庁施策のみならず、他のプロジェクト会員が実施する施策において、依頼に応じて、酒造技術の専門家である鑑定官を講師派遣。	国税庁等の施策において、酒造技術の専門家である鑑定官をプロジェクト会員が所属する機関が実施するセミナー等に講師派遣し、琉球泡盛の歴史や製法等、オンラインも活用しながら施策の目的に沿った説明を実施。	国税庁等の施策において、酒造技術の専門家である鑑定官をプロジェクト会員が所属する機関が実施するセミナー等に講師派遣し、琉球泡盛の歴史や製法等、オンラインも活用しながら施策の目的に沿った説明を実施。	引き続き、依頼に応じて鑑定官を講師派遣。	【国税庁】 酒税課 03-3581-4161 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601
6	情報発信ツールの整備と活用 【国税庁、沖縄国税事務所】	PR 動画の作成やパンフレット等の情報発信ツールを整備し、各種 PR において活用する。 また、効果的な PR を継続的に実施することで、琉球泡盛の認知度を向上させ、輸出拡大に向けた商流のきっかけを作り出す。	新型コロナウイルス感染症拡大の状況等を踏まえつつ、あらゆる機会を捉えて、プロモーションのターゲットを絞って琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることで、琉球泡盛の国際的認知度を向上させ、販路開拓につなげる。 例) ・琉球泡盛と世界的にも知名度の高い沖縄発の空手との歴史的関係性等を活かしたプロモーション動画を、海外	国際的イベント等のあらゆる機会を捉えて、プロモーションのターゲットを絞って琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることで、琉球泡盛の国際的認知度を向上させ、販路開拓につなげる。 例) ・第 7 回世界のウチナーンチュ大会において、各国から来沖した県系人に向け琉球泡盛の展示、琉球泡盛 PV (英語版) の放映を行うと	取組成果や過去の施策を検討し、認知度向上に効果的な施策を行う。	【国税庁】 酒税課 03-3581-4161 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601

			でのイベントや JETRO・沖縄県の海外事務所などの関係機関にて活用 ・在沖外国人等に対する酒蔵ツーリズム等の体験型プロモーションの実施。 ・歴代泡盛の女王を泡盛クイーンズサポーターに委嘱。泡盛クイーンズサポーターが自己の SNS 等から琉球泡盛に関する情報を世界に向けて積極的に発信。	ともに、母国語の琉球泡盛のパンフレット（英語、スペイン語、ポルトガル語）を配付。また、フォトスポットで撮影した写真を SNS 投稿した方に泡盛ミニチュアボトルを進呈。 ・在沖外国人（ALT 等）に対する酒蔵見学ツアーを実施し、参加者が自己の SNS からツアーの様子を情報発信。 ・歴代泡盛の女王を泡盛クイーンズサポーターに委嘱。泡盛クイーンズサポーターが自己の SNS 等から琉球泡盛に関する情報を世界に向けて積極的に発信。		
7	海外メディア等を通じた琉球泡盛情報の海外発信 【（独）日本貿易振興機構】	海外の酒類関連見本市・商談会への出品や、日本国内（特に沖縄）への海外メディア・インフルエンサー等招へいの機会等を活用して、	海外において、海外バイヤー、飲食店等に対し琉球泡盛の情報の発信を実施。また、インフルエンサーを活用した PR を実施。	オンラインとリアルを併用しつつ、海外での展示会を活用し、海外バイヤー等に琉球泡盛の情報の発信を実施。	予算の状況を踏まえ、引き続き実施を予定。	【（独）日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部戦略的商流構築課

		琉球泡盛の海外情報発信を強化し、琉球泡盛の輸出促進を図る。		また、現地のインポーターと連携し、琉球泡盛の PR イベントや SNS を活用した情報発信を実施。		03-3582-8348
8	海外事務所及び委託駐在員のネットワークを活用した琉球泡盛情報の発信 【（公財）沖縄県産業振興公社・沖縄県】	海外事務所及び委託駐在員の配置地域において、関係機関の実施するイベント等と連携し、琉球泡盛の認知度向上を図る。	海外事務所の実施するイベントや在外公館等の実施するイベントと連携して琉球泡盛プロモーションを実施。 海外事務所の現地 SNS 等での琉球泡盛情報を発信。	海外事務所の実施するイベントや在外公館等の実施するイベントと連携して琉球泡盛プロモーションを実施。 海外事務所の現地 SNS 等での琉球泡盛情報を発信。	イベントの連携、SNS による情報発信を継続する。	【（公財）沖縄県産業振興公社】 海外・ビジネス支援課 098-859-6238
9	琉球泡盛海外輸出プロジェクト・ポータルサイトの構築 【プロジェクト事務局】	本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行う。	内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトにおいて、引き続きプロジェクト関連情報を掲載。 プロジェクト・ポータルサイトに掲載する支援情報の拡充。	内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトにおいて、引き続きプロジェクト関連情報を掲載。	内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトにおいて、引き続きプロジェクト関連情報	【沖縄総合事務局】 総務部 098-866-0047 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
10	国際大会・イベントを通じた琉球泡盛情報発信【沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所】	国際大会・イベント等を通じ琉球泡盛の情報発信を行う。		沖縄空手世界大会参加記念に泡盛ミニチュアボトル2本箱入を900セット作成、出場選手	FIBA バスケットボールワールドカップ2023を活用した情報発信。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727 【沖縄国税事務所】 間税課

				に配布した。(大会ロゴマークの他、空手と泡盛の親和性を日本語と英語で表記) 世界のウチナーンチュ大会会場での情報発信。(前掲6参照)		098-867-3601
--	--	--	--	--	--	--------------

(2) 効果的な販路拡大・市場拡大

支援メニュー		概要	2021 年度	2022 年度	2023 年度	問い合わせ先
【団体名】						
1	海外へアプローチするためのペルソナ調査分析 【沖縄県酒造組合】	海外顧客市場ニーズへの適切なマッチングを行うために、国別客層ペルソナ調査分析を実施。泡盛業界での共有のターゲット別嗜好指標を作成し、消費者のモチベーションを促すための機会創出の切り口を見出す。また、上記調査を踏まえた上で、海外の方に好まれる、食事のシーンに合せた酒器などを含む飲み方提案。	オンラインでのネット調査を主体として検討した。また海外拠点がある各行政機関のネットワークを活用して現地情報の収集（市場動向ヒアリング）も兼ねて検討した。 シンガポールにおけるマスタークラス（セミナー、試飲会：12社12商品）を実施。（内閣府沖縄酒類製造業自立経営促進事業）	海外拠点がある各行政機関のネットワークを活用して現地情報の収集（市場動向ヒアリング）を図った。 アメリカ、中国（2地域）、シンガポールで泡盛マスタークラス（試飲会）による知名度向上と市場調査を実施。17社23商品出品。（国税庁ブランド化・酒蔵ツーリズム補助金） ドイツの海外展示会（BCB）のJAPANパビリオンでの合同出展、3社参加、7社16商品出品。（内閣府沖縄型産業中核人材育成事業） シンガポールで商談形式のPR実地研修、3社		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

				が参加、1社はサンプル出品。(内閣府沖縄型産業中核人材育成事業) イギリスで泡盛ジンブナーによる泡盛講座を開催、10社出品。		
2	国内外の大型酒類展示見本市への出展 【沖縄県酒造組合・沖縄県】	各国のバイヤーが来場する国内外での大型酒類展示見本市への出展。	ツーリズム EXP02021 大阪への出展を予定していたが、新型コロナ蔓延等により、2023 年に延期。 FOODEX JAPAN2022 は、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で国内の食品・飲料バイヤー中心の開催となり、泡盛酒造所5社が出品(日本酒造組合中央会ブースを活用)。 沖縄大交易会 2021(沖縄県)に泡盛酒造所2社出展。	ツーリズム EXP02022 幕張への出展は泡盛紹介動画と小冊子の配布(日本酒蔵ツーリズム推進協議会ブース活用)。 FOODEX JAPAN2023 に、泡盛酒造所9社が出品(日本酒造組合中央会ブースを活用)。 沖縄大交易会 2022(沖縄県)に泡盛酒造所2社出展。 Bar Convent Berlin:ドイツ・ベルリン展示会に3社が参加、4社はサンプル出品。(内閣府沖縄	国の補助事業等を積極的に活用し、商談経験を積ませる。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

				型産業中核人材育成事業) Drinks America ニューヨーク展示会に7社が参加、3社はサンプル出品。(全国商工会連合会共同・協業販路開拓支援)		
3	琉球泡盛の普及啓発施策 【沖縄県酒造組合】	インバウンド観光客に向けた、琉球泡盛の普及啓発及びブランド向上を促すために、琉球泡盛タイアップ施策を行う。 琉球王朝の時代から育まれてきた琉球泡盛の情緒的価値を知っていただくための情報発信を行う。あわせて試飲や即売会を開催する。	インバウンド観光客に向けた、琉球泡盛の普及啓発及びブランド向上を促すために、琉球泡盛タイアップ施策を行った。 琉球泡盛と繋がる空手や琉球料理、エイサー、酒器、首里城などの繋がりを周知しながら、琉球泡盛の酒質の多様性を含めて体験していただくプロモーションを実施。 オンラインとオフラインの活用を考慮しながら、琉球泡盛と結び付きが深い情緒的価値の情報コンテンツを発信した。 日本遺産（文化庁事業）でのプロモーションとも連携を図った。 琉球文化日本遺産 中国語ガイド養成講座の「泡盛」で講師として参加。	オンラインとオフラインの活用を考慮しながら、琉球泡盛と結び付きが深い情緒的価値の情報コンテンツを発信した。 日本遺産（文化庁事業）でのプロモーションとも連携を図った。 琉球文化日本遺産 中国語ガイド養成講座の「泡盛」で講師として参加。	オンラインとオフラインの課題を整理しながらオンラインでの事前情報等の充実とオフラインでのイベント催事の事業充実を図っていく。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

			ら、琉球泡盛と結び付きが深い情緒的価値の情報コンテンツを発信。 また、オフラインでは沖縄での日本遺産施策と連携を図って、琉球泡盛の情緒的価値の普及促進を図った。			
4	沖縄国際物流ハブ活用推進事業 【（公財）沖縄県産業振興公社・沖縄県】	ANA 航空貨物便の就航地域を中心に、アジア主要都市及びその他地域への県産品の販路拡大を目指す県内企業に対して支援を実施する。	各泡盛メーカーへ補助メニューの周知を行い、海外販促活動等への支援を行う。	各泡盛メーカーに対して、海外販促活動・商品改良・貿易人材育成等、補助メニューを周知し、支援を行う。	輸出拡大に向けた効果的な事業実施を検討	【（公財）沖縄県産業振興公社】 海外・ビジネス支援課 098-859-6238
5	沖縄大交易会 【（公財）沖縄県産業振興公社・沖縄県】	沖縄の地理的優位性を活かした国際物流貨物ネットワークの構築・更なる拡大を図る目的で、日本最大規模の「食」をテーマとした国際食品商談会「沖縄大交易会」を開催。	第9回沖縄大交易会2021については、オンライン商談会とリアル商談会を併催したハイブリット開催。 また2020年度は県内酒造所4社が参加していることから、引き続き県内協力機関等と協力し、交易会への更なる参加を促した。	第10回沖縄大交易会2022については、オンライン商談会とリアル商談会を併催したハイブリット型の商談会を昨年度に引き続き開催。 また、2021年度は県内酒造所2社が参加していることから、引き続き県内協力機関と連携し、	沖縄大交易会は継続開催予定。過年度の取り組み結果を踏まえた上で、開催概要を検討していく。	【（公財）沖縄県産業振興公社】 沖縄大交易会実行委員会事務局 098-851-7463

				交易会への更なる参加を促した。		
6	クルーズ船での泡盛の活用促進【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	沖縄に寄港するクルーズ船社に対して、船内における琉球泡盛の活用を働きかける。	沖縄に寄港するクルーズ船社に対して、船内における琉球泡盛の活用を働きかけた。	沖縄に寄港するクルーズ船社に対して、船内における琉球泡盛の活用を働きかけた。クルーズの広報に際して各地の物産や観光の紹介に合わせて泡盛のPRを行った。	引き続き、沖縄に寄港するクルーズ船社に対し、船内における琉球泡盛の活用を働きかけ、各地で味わいの異なる泡盛の魅力をフックに、離島含めた各地の観光PRにつなげていく。	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
7	リゾートウエディングでの琉球泡盛の活用促進【沖縄県】	国内外におけるリゾートウエディング等のプロモーションに併せて、ウエディングにあった琉球泡盛商品の情報発信をする。	業界や関連団体等と連携し、リゾートウエディングにおける琉球泡盛の利用促進を図った。	業界や関連団体等と連携し、琉球泡盛の利用促進を図った。	業界や関連団体等と連携し、リゾートウエディングにおける、琉球泡盛の利用促進を図る。	【沖縄県】 文化観光スポーツ部観光振興課 098-866-2764

8	台湾向け支援 【（株）沖縄県物産公社】	台湾での泡盛取扱業者と県内メーカーとの調整（輸出手配、販促活動等）	新型コロナウイルスの影響で渡航ができず、販売も低迷した。 2021 年度実績： 4.182KI（泡盛リキュールを含む） 昨年比 40.9%	取引先を通じて営業活動の強化を図り輸出を拡大。 2022 年度実績： 4.397kL（泡盛リキュールを含む） 昨年比 100.5%	取引先を通じて営業活動の強化を図り輸出拡大を目指す。	【（株）沖縄県物産公社】 海外ビジネス班 098-859-6325
9	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （特産品振興貸付制度） 【沖縄振興開発金融公庫】	＜貸付先＞ 泡盛を製造する者 ＜貸付利率＞ 設備：特別利率 運転：基準利率 ＜貸付期間＞ 設備 20 年、運転 7 年 ＜据置期間＞ 設備・運転：2 年以内 ＜貸付限度額＞ 設備：720 百万円 運転：250 百万円	新型コロナウイルスの影響を受けた泡盛製造業者に対し、資金繰り支援に積極的に取り組んだ。	新型コロナウイルスや原油価格高騰の影響が続いている泡盛製造業者に対し、引き続き、資金繰り支援に積極的に取り組んだ。 特産品振興貸付制度 2023 年 1 月末融資残高：14 社、857 百万円 【新型コロナウイルス関連】	各事業者の個別の資金需要に対応。	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業第一班 098-941-1785

				新型コロナウイルス感染症特別貸付 2023 年 1 月末融資残高：20 社、1,118 百万円 【参考】 泡盛製造業者に対する全融資残高（2023 年 1 月末時点）：33 社、3,265 百万円		
10	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （泡盛古酒製成事業） 【沖縄振興開発金融公庫】	<貸付先> 泡盛古酒製成事業者 <貸付期間> 設備 20 年、運転 10 年 <据置期間> 設備：5 年以内 運転：3 年以内 <貸付限度額> 設備：720 百万円 運転：480 百万円	新型コロナウイルスの影響を受けた泡盛製造業者に対し、資金繰り支援に積極的に取り組んだ。	新型コロナウイルスや原油価格高騰の影響が続いている泡盛製造業者に対し、引き続き、資金繰り支援に積極的に取り組んだ。 泡盛古酒製成事業 2023 年 1 月末融資残高：7 社、158 百万円	各事業者の個別の資金需要に対応。	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業第一班 098-941-1785
11	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （泡盛在庫担保制度） 【沖縄振興開発金融公庫】	泡盛製造業者については、不動産担保に代わり、泡盛の在庫を担保として提供が可能。	新型コロナウイルスの影響を受けた泡盛製造業者に対し、資金繰り支援に積極的に取り組んだ。	新型コロナウイルスや原油価格高騰の影響が続いている泡盛製造業者に対し、引き続き、	各事業者の個別の資金需要に対応。	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業第一班 098-941-1785

				資金繰り支援に積極的に取り組んだ。		
				泡盛在庫担保制度 2023 年 1 月末融資残 高：3 社、207 百万円		
12	沖縄酒類製造業の自立経営促進事業 【内閣府、沖縄総合事務局・沖縄県】	海外への販路開拓等に向けた先導的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造所に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きの促進を図る。 沖縄県産酒類に係る酒税の軽減措置が段階的に縮小、廃止されることになり、まず令和 5 年 10 月からアルコール度数が 45 度を超える「泡盛」等の軽減率が引き下げになることを踏まえ、これらの酒類を対象として、海外販路開拓・拡	これまでの取組みを通じて明らかとなった課題等に対応するため、各ターゲット向けの取組を深化させ、輸出拡大のモデル事業を創出する。特に、テロワール泡盛を活用したブランド力の向上のためのプロモーション等を実施。 合計 5 件の事業を委託し、モデル的な事業を実施。各事業実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、オンラインを中心に実施。	過去 4 年間の取組みを通じて明らかとなったノウハウ等を活かし、新たな販路の創出だけでなく認知度の向上・輸血量の増加に向けたモデル事業を創出する。	取組成果を踏まえた事業の実施を検討。 酒税の軽減率が引き下げになるアルコール度数が 45 度を超える「泡盛」等の海外市場調査や消費者動向調査等を実施。 併せて、酒類製造業者への実態調査を実施。	【内閣府】 沖縄振興局調査金融担当参事官室 03-6257-1673 【沖縄総合事務局】 総務部 098-866-0047

		大のための市場調査や消費者動向調査等を実施する。 併せて、軽減措置の適用を受けている全ての製造業者への実態調査を行い、海外展開等の要望についても把握し、対応策を検討する。				
13	泡盛海外展開支援 【内閣府】	新型コロナウイルス感染症の状況等を注視し、マーケティング調査、プロモーション等の支援を検討する。（欧州、米国）	事業進捗に応じ、沖縄総合事務局の有する施策メニュー等の活用や、関係機関等と連携し、マーケティング調査、プロモーション等を支援。（欧州、米国）	事業進捗に応じ、沖縄総合事務局の有する施策メニュー等の活用や、関係機関等と連携し、マーケティング調査、プロモーション等を支援。 フランスにて開催される日本酒コンクール「Kura Master」の審査員等を招聘し、琉球泡盛の魅力等を伝え、琉球泡盛の市場拡大に繋げた。	取組成果を踏まえた事業の実施を検討。	【沖縄総合事務局】 経済産業部国際室 098-866-1731

14	海外の大型酒類見本市への出展支援 【国税庁】	各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市への出展を支援。	①各国の酒類専門バイヤー等が参加する国際的な酒類展示見本市等（オンライン開催）への出展支援や効果的なPRを実施。 ②各国の酒類専門バイヤーとの輸出取引が成立するよう効果的な支援を実施。	①各国の酒類専門バイヤー等が参加する国際的な酒類展示見本市等への出展支援や効果的なPRを実施。 ②各国の酒類専門バイヤーとの輸出取引が成立するよう効果的な支援を実施。	引き続き、出展等を支援する。	【国税庁】 酒税課 03-3581-4161
15	琉球泡盛の国際的プロモーション 【国税庁、沖縄国税事務所】	海外の酒類関係者を沖縄に招聘し、琉球泡盛の魅力等を伝える。更に、海外での消費者向けプロモーションを開催し、琉球泡盛の市場拡大に繋げる。	海外の酒類関係者に対してオンライン等を活用し、琉球泡盛の魅力等を伝える。 海外での消費者向けプロモーションを開催し、琉球泡盛の市場拡大に繋げる。	蒸留酒等の知識を普及する国際的な酒類教育機関（WSET）の蒸留酒プログラムの講師を招聘し、酒蔵の視察を通じて、琉球泡盛の魅力等を伝える。 ハワイにおいて、消費者への試飲、酒類事業者との懇談会や商談会を開催し、琉球泡盛の認知度向上・市場拡大に繋げる。	取組成果を踏まえた実施方法を検討しつつ、継続して実施。	【国税庁】 酒税課 03-3581-4161 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601

16	マーケットイン輸出 ビジネス拡大支援事業 【農林水産省】	(独)日本貿易振興機構 が行う琉球泡盛を含む 輸出関心事業者に対す る海外見本市への出展、 国内外の商談会の開催、 サンプル展示ショール ームの設置、セミナー開 催、専門家による相談対 応等を農林水産省が支 援する。 また、輸出促進法に基 づく認定農林水産物・食 品輸出促進団体である日 本酒造組合中央会が行 う業界全体の輸出力強 化に向けた取組を農林 水産省が支援する。	(独)日本貿易振興機構 が行う琉球泡盛を含む 輸出関心事業者に対す る海外見本市への出展、 国内外の商談会の開催、 サンプル展示ショール ームの設置、セミナー開 催、専門家による相談対 応等を農林水産省が支 援。 また、輸出促進法に基 づく認定農林水産物・食 品輸出促進団体である日 本酒造組合中央会が行 う業界全体の輸出力強 化に向けた取組を農林 水産省が支援する。	輸出関心事業者に対す る海外見本市への出展、 国内外の商談会の開催、 サンプル展示ショール ームの設置、セミナー開 催、専門家による相談対 応等を引き続き支援す るとともに、輸出促進法 に基づく認定農林水産 物・食品輸出促進団体で ある日本酒造組合中央 会が行う業界全体の輸 出力強化に向けた取組 についても、引き続き支 援する予定。	2030年5兆円目 標に向けて引き 続き、事業の措 置を検討	【農林水産省】 輸出企画課 03-3502- 3408 【(独)日本貿易振興機 構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部戦略 的商流構築課 03-3582-8348
17	泡盛特化型輸出支援 パッケージ 【(独)日本貿易振興 機構】	泡盛業界の関心の特に 高い国・地域等を対象 に、セミナー等による情 報提供や展示会・商談会 出品支援に取り組みつ つ、特に専門家による個 社支援を強化すること	マーケットインを意識 し、泡盛企業の商流構築 支援を推進。オンライン ツールを活用し、情報提 供、情報発信のほか、商 談機会を提供。	2022年度も引き続き泡 盛企業の商流構築支援 を推進。オンライン、リ アルでの情報提供、情報 発信のほか、商談機会を 提供。	予算の状況を踏ま え引き続き実施を 予定。	【(独)日本貿易振興機 構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部戦略 的商流構築課 03-3582-8348

		で琉球泡盛の着実な輸出増加を図る。 ①琉球泡盛の輸出相談・情報提供を実施。 ②泡盛輸出に資するセミナー等を実施。 ③海外食品・酒類バイヤーと泡盛関係企業との個別商談を実施。 ④海外での酒類関連展示会・商談会等（アジア、欧州等）への泡盛関係企業の出品支援。 ⑤着実な輸出を図るため、専門家等を活用して泡盛関係企業の個社支援を実施・強化。 ⑥焼酎及び琉球泡盛の海外販路開拓を推進するプロジェクトにおいて、欧米の成長するクラフト・スピリッツ市場において、新たなカテゴリを創設しようとする有力な現地バイヤーと連携して販売ルートを確認するとともに、プロモーション等を実施	①琉球泡盛の輸出相談・情報提供を実施。 ②泡盛輸出に資するセミナー等を実施。 ③海外食品・酒類バイヤーと泡盛関係企業との個別商談を実施。 ④海外での酒類関連展示会・商談会等（アジア等）への泡盛関係企業の出品支援。 ⑤着実な輸出を図るため、専門家等を活用して泡盛関係企業の個社支援を実施。 ⑥引き続き欧米の成長するクラフト・スピリッツ市場における、有力な現地バイヤーと連携して販売ルート確立を図るとともに、プロモーション等を実施。	
--	--	--	--	--

(3) 品質・技術の向上／人材育成

支援メニュー 【団体名】	概要	2021 年度	2022 年度	2023 年度	問い合わせ先
1 横断的かつ俯瞰性を兼ねた中核人材育成 【沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	プロダクトアウト発想とマーケットイン発想、双方の視点を持つ人材育成を行い、タイムリーな消費者ニーズを踏まえた商品提案が出来る中核人材を育成。	官能評価が主体となる事業であるため、オンラインでの開催が主となった。人数を限定して実施回数を増やすことや、酒造所で学習が出来る官能訓練キットとの連携を図った。	2021 年度は新型コロナウイルス禍の中、官能評価研修が実施できなかった。 2022 年度は沖縄国税事務所主任鑑定官主導のもと、北那覇・名護・石垣・宮古島の各税務署において管内酒造所を対象に官能評価研修を実施した。	官能評価（ブレンド能力）に伴う酒造組合独自の資格制度を検討していく。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601
2 訪日外国人に対する販売力強化 【沖縄県卸売酒販組合・沖縄県小売酒販組合・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	酒類販売業者へ訪日外国人への販売力強化を目的とした琉球泡盛に関する知識の向上を図るための研修を実施。	酒類販売業者に対しWEB研修を実施し、オンライン販売での誘客力・訴求力の向上等、外国人に対する販売力の強化に取り組む。	酒類業者に対する研修や意見交換等の実施により、外国人に対する販売力の強化に取り組む。	引き続き、販売力向上に取り組む。	【沖縄県卸売酒販組合】 098-868-5270 【沖縄県小売酒販組合】 098-943-8775
3 沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （特産品振興貸付制度） 【沖縄振興開発金融公庫】（再掲）	※再掲のため省略 「（2）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				

4	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
5	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
6	泡盛鑑評会における品質評価の実施及び結果公表 【沖縄国税事務所】	品質評価を通じて、泡盛酒造技術の発展及び品質向上を図るとともに、その結果を国内外の消費者に対して公表。その他消費者に有用な情報の多言語発信。	国税職員や学識経験者等の専門家その他、外国人審査員も交えて品質評価を実施する。 その結果は日本語の他、英語及び中国語でも公表する。	国税職員や学識経験者等の専門家その他、外国人審査員も交えて品質評価を実施する。 その結果は日本語の他、英語及び中国語でも公表し、その他にも消費者に有用な情報を多言語発信する。	表彰式や結果公表などの実施方法について検討しつつ、継続して実施。	【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601

(4) ブランド力の向上

	支援メニュー	概要	2021 年度	2022 年度	2023 年度	問い合わせ先
	【団体名】					
1	琉球泡盛ブランディング構築施策【沖縄県酒造組合・沖縄県】	琉球泡盛の「ブランディングの構築」に取り組んでいます。	2021 年度は琉球泡盛全体の MVV（ミッション・ビジョン・バリュー）の構築を策定し、泡盛業界として 5 年後 10 年度の進むべき方向性を構築。 親しみやすいロゴマークとスローガン「あそび心、盛りだくさん」を選定。	琉球泡盛ブランディング事業で策定した戦略に基づき、泡盛に馴染みの薄い 20・30 歳代層や女性向けのプロモーション事業を展開。	琉球泡盛を主軸として 1 次産業と連携を図った沖縄県産酒類業団体として進めていく。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	沖縄県産泡盛の地理的表示「琉球」の活用促進 【沖縄県酒造組合・国税庁・沖縄国税事務所】	GI「琉球」の事業者における活用、及び消費者向け PR 活動を実施する。	GI「琉球」適格証明書の輸出先国での効果的な活用を推進。「古酒の日」イベントや国税庁等が主催する GI シンポジウムにおいて、黒こうじ菌を用いた伝統製法や古酒といった GI「琉球」独自の特性等を積極的に PR して、ブランド力の向上を図った。	「GI 壱岐・球磨・薩摩・琉球セミナー in 東京～フードペアリング」や「泡盛及び伝統的酒造りシンポジウム」を開催し、琉球泡盛の歴史背景、地域性、特徴等を解説し、PR を行った。	取組成果を踏まえ事業実施を検討	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601

3	海外ニーズを踏まえたブランド化推進等支援【国税庁・沖縄国税事務所】	プロダクトアウトからマーケットインに発想を転換するとの観点から、海外市場における嗜好・ニーズを的確に把握するとともに、マーケットインの発想で、海外のニーズも踏まえた商品のブランド化等を通じ、輸出に積極的にチャレンジする泡盛製造業者の取組を支援。	事業者において琉球泡盛に特化した海外市場調査を実施するとともに、海外のニーズも踏まえた商品のブランド化やブランド戦略の策定に係る取組を支援。	琉球泡盛に特化した海外市場調査や海外のニーズも踏まえた商品のブランド化やブランド戦略の策定に係る取組を支援。	取組成果を踏まえた実施方法を検討しつつ、継続して実施。	【国税庁】 酒税課 03-3581-4161 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601
4	古酒ブランド普及啓発施策【沖縄県酒造組合】	古酒の正しい理解と美味しい古酒の飲酒機会を充実するために、古酒月間として県民に広く推進していく。	古酒に関する4つのテーマに計20人のインフルエンサーがSNS発信。	9月4日を「古酒の日」そして「仕次の日」と定め、5種類の動画をカウントダウン式にYouTube配信・アーカイブ化。	取組成果を踏まえた事業を検討。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
5	那覇市壺屋「やちむん通り祭り」タイアップ施策【沖縄県酒造組合】	琉球泡盛と酒器との繋がりの体験を通じ、琉球泡盛に親しんでもらうため、壺屋での「やちむん祭り」とタイアップを行い、歴史文化の側面から琉球	やちむん祭りのオンライン施策と連携を図っていくことを検討したが、新型コロナウイルス蔓延等から実施できなかった。	やちむん祭りのオンライン施策と連携を図っていくことを検討したが、新型コロナウイルス蔓延等から実施できなかった。	取組成果を踏まえた事業を検討。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

		泡盛の普及啓発を促していく。				
6	台湾向け支援 【（株）沖縄県物産公社】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
7	沖縄振興開発金融公庫貸付制度（特産品振興貸付制度） 【沖縄振興開発金融公庫】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
8	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （泡盛古酒製成事業） 【沖縄振興開発金融公庫】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
9	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （泡盛在庫担保制度） 【沖縄振興開発金融公庫】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				

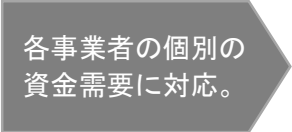
10	琉球泡盛の PR 【外務省】	各国・地域の在外公館では、会食、レセプション、文化事業等の機会を活用し、任国要人や現地バイヤー等に、琉球泡盛の積極的な PR を実施。 また、本省では、在外公館から調達希望を受け、コンクール受賞酒等の日本産酒類を調達・送付。 2017 年度から琉球泡盛の調達・送付を開始。	新型コロナウイルス感染拡大の状況も見つつ、2019 年度に実施した PR 事業の効果・問題点等を踏まえ、在外公館等での琉球泡盛 PR 事業をより効果的に実施。	新型コロナウイルス感染拡大の状況も見つつ、在外公館等での琉球泡盛 PR 事業をより効果的に実施。	取組成果を踏まえた事業の効果的な実施を検討。	【外務省】 経済局官民連携推進室 03-5501-8336 ※在外公館で泡盛を活用した PR 関係 大臣官房在外公館課 03-5501-8119 ※泡盛の調達及び在外公館への送付関係
11	琉球泡盛の PR 【日本トランスオーシャン航空（株）】	琉球泡盛の国内外・老若男女への普及促進へ向け、PR、プロモーション等他関係先・弊社グループ各社との連携も含め、エアラインとしてのノウハウやツールを活用しつつ施策の展開を図る。	JAL グループのサービス、情報発信ツールを活用し以下を展開。 ・通年で泡盛の機内販売を実施。特に五輪イヤーとして「空手」ボトルの販売を行った。 ・HP での泡盛酒造所めぐり掲載。	JAL グループのサービス、情報発信ツールを活用し以下を展開。 ・機内誌での泡盛特集。 ・泡盛メーカーの協力を得、元日に機内にて泡盛ミニボトルの配布を実施。 ・通年で泡盛の機内販売を実施。 ・HP での泡盛酒造所めぐり掲載。	引き続き、JAL グループのサービス・情報発信ツールの活用を検討。	【日本トランスオーシャン航空（株）】 企業価値推進部 098-857-3198

12	琉球泡盛テロワールプロジェクトの推進 【内閣府、沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、沖縄県、JA おきなわ、JA 沖縄中央会、沖縄県酒造組合、農林水産省農産局・農林水産技術会議事務局】	琉球泡盛のブランド価値を高め、その魅力をPRするためには、テロワール（地域に根ざした原料調達）が重要 このため、泡盛製造業者と生産者のマッチングにより、県産長粒種米を使用した泡盛製造を推進	2020 年度までの取組を踏まえ、栽培手引きを作成・普及しつつ、二期作において泡盛原料用の県産長粒種米の生産を推進し、海外輸出を予定している酒造メーカーへ供給。 ・農家数 20 戸 - 伊平屋村 14 戸 - 伊是名村 6 戸 ・面積 30ha - 伊平屋村 19ha - 伊是名村 11ha ・酒造協同組合への供給量 100t (精米)	2021 年度までの取組を踏まえ、安定供給を目指す産地化の取組を支援。 ・農家数 18 戸 - 伊平屋村 13 戸 - 伊是名村 5 戸 ・面積 29ha - 伊平屋村 16ha - 伊是名村 13ha	取組成果を踏まえた事業の実施を検討。	【内閣府】 沖縄振興局振興第二担当 03-6257-1668 【沖縄総合事務局】 農林水産部生産振興課 098-866-1653
13	テロワール泡盛によるブランド力の向上 【内閣府、沖縄総合事務局・沖縄県酒造組合】	県産長粒種米により製造される琉球泡盛を活用し、海外での琉球泡盛の認知度を向上させるため戦略的なプロモーションを行う。	2020 年度事業で策定したブランディングの方向性を酒造メーカーへ情報提供するとともに、テロワールプロジェクトと連携し取組の国内外への情報発信を行った。	令和 4 年産県産長粒種米によるテロワール泡盛から、国内販売を開始。 11 社中 4 社が国内販売を実施。	取組成果を踏まえた事業の実施を検討。	【内閣府】 沖縄振興局調査金融担当参事官室 03-6257-1673 【沖縄総合事務局】 総務部 098-866-0047 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

			また、泡盛アンバサダーに任命した海外の酒類専門家を通じてテロワール泡盛の海外での普及活動を実施。 泡盛ジンブナー(英国)による県産長粒種米泡盛の海外展開オンラインセミナー開催。(ブレーン沖縄)			
14	琉球泡盛の日本遺産への登録 【沖縄県】	日本遺産「琉球王国から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「琉球泡盛」、そして芸能」を活用し、歴史的、文化的な側面から琉球泡盛の認知度向上を図る取組を行う。	日本遺産ガイドの育成拡充やシンポジウムの開催、メディアを活用した魅力発信等をとおして、歴史的、文化的な側面から琉球泡盛の認知度の向上を図った。また、WEBサイトの多言語化を実施。	日本遺産ガイド(日本語)のフォローアップや、日本遺産ガイド(中国語)の養成及びモニターツアーを実施することにより歴史的、文化的側面から琉球泡盛の認知度向上を図った。	日本遺産ガイドの活動推進及び自走化に向けた支援に取り組み、日本遺産ストーリーを活用して琉球泡盛の認知度向上を図る。	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 ※泡盛関係 文化観光スポーツ部文化振興課 098-866-2768 ※琉球料理、芸能関係
15	泡盛ジンブナーを活用した認知度及びブランド力の向上 【内閣府、沖縄総合事務局・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	海外酒類教育機関(WSET)と連携し、泡盛アンバサダーを選定し、泡盛の認知度向上及びブランド力の向上を図る。	泡盛ジンブナー(英国)による県産長粒種米泡盛の海外展開オンラインセミナー開催。	以下の取組を行い、各国・地域における認知度向上及びブランド力の向上を図る。 泡盛ジンブナー(英国)による泡盛マスターク	取組成果を踏まえた事業の実施を検討。	【内閣府】 沖縄振興局調査金融担当参事官室 03-6257-1673 【沖縄総合事務局】 総務部 098-866-0047

				ラス（セミナー・勉強会）の実施。 DRINKS AMERICA（ニューヨーク酒類展示会）に泡盛ジンブナーを帯同。 アメリカ西海岸3ヶ所で泡盛ジンブナー主催の試飲商談会を実施。 第2回泡盛ジンブナーとして6名を叙任。（各拠点地域はイギリス、中南米、シンガポール、アメリカ、マレーシア）		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727 【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601
16	海外における商標を中心とした出願支援 【（独）日本貿易振興機構】	特許庁の外国出願補助金を活用し、海外における商標を中心とした産業財産権の出願を支援する。	（独）日本貿易振興機構では2021年6月21日から7月21日まで案件募集。	（独）日本貿易振興機構では、2回に分けて案件募集（2022年5月9日から5月31日まで、7月1日から29日まで）。	予算の状況を踏まえ引き続き実施を予定。	【（独）日本貿易振興機構】 イノベーション・知的財産部知的財産課 外国出願デスク 03-3582-5642 沖縄貿易情報センター 098-859-7002

(5) 輸出環境の整備

支援メニュー		概要	2021 年度	2022 年度	2023 年度	問い合わせ先
【団体名】						
1	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (特産品振興貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
2	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
3	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
4	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (海外展開貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】	<貸付先> 海外展開事業を行う者 <貸付利率> 基準利率～特別利率 <貸付期間> 設備 20 年、運転 7 年 <据置期間> 設備・運転：2 年以内	2022 年 3 月末時点において、海外展開貸付制度は泡盛製造業者に対する融資実績なし。	新型コロナウイルスや原油価格高騰の影響が続いている泡盛製造業者に対し、引き続き、資金繰り支援に積極的に取り組んだ。	 各事業者の個別の資金需要に対応。	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業第一班 098-941-1785

		＜貸付限度額＞ 1,440 百万円（うち 運転資金 960 百万円）		2023 年 1 月末時点において、海外展開貸付制度は泡盛製造業者に対する融資実績なし。		
5	関税引下げ及び地理的表示の保護に向けた交渉 【外務省、国税庁】	各国・地域との協議や経済連携協定交渉を通じて、関税の引下げ及び地理的表示の保護に係る働きかけを実施。	各種経済連携協定交渉、日台貿易経済会議等を通じた関税引下げ及び地理的表示の保護の働きかけを実施。	各種経済連携協定交渉、日台貿易経済会議等を通じた関税引下げ及び地理的表示の保護の働きかけを継続		【外務省】 経済連携課 03-5501-8341 中国・モンゴル第二課 03-5501-8439 【国税庁】 酒税課 03-3581-4161
6	米国の飲食店における焼酎（泡盛を含む）の販売免許の取扱い 【国税庁】	ニューヨーク州及びカリフォルニア州において、飲食店が蒸留酒を販売するためには全酒類免許が必要だが、24 度以下のソジュ（韓国焼酎）については、ワイン免許で販売できる特例（州法）が設けられていることから、焼酎についても同様の取扱いとするよう州政府の関	ニューヨーク州及びカリフォルニア州の関係当局に対し働きかけを実施。	ニューヨーク州で法改正が行われ、州内の飲食店において 24 度以下の焼酎をワイン免許で販売できるようになった。	カリフォルニア州政府の関係当局に対し働きかけを継続	【国税庁】 酒税課 03-3581-4161

		係当局に対し働きかけを実施。				
7	海外販路拡大に向けた支援窓口への誘導 【沖縄国税事務所、(独)日本貿易振興機構】	輸出に当たり、泡盛事業者へ輸出支援窓口である(独)日本貿易振興機構への誘導を行い、輸出の活性化を図る。	沖縄県酒造組合を通じて、(独)日本貿易振興機構との輸出相談の活発化を促すとともに、泡盛事業者からの輸出に係る相談に応じて(独)日本貿易振興機構の窓口へ案内し、輸出に有効な情報の入手を支援することで輸出の活性化を図り、商流へ繋げるきっかけとする。	沖縄県酒造組合を通じて、(独)日本貿易振興機構との輸出相談の活発化を促すとともに、泡盛事業者への接触時には輸出取組状況を聴取し、輸出に係る相談内容に応じて(独)日本貿易振興機構の窓口へ案内し、輸出に有効な情報の入手を支援することで輸出の活性化を図り、商流へ繋げるきっかけとする。	今後も輸出に有効な情報の入手を支援する。	【沖縄国税事務所】 間税課 098-867-3601
8	【中国】 第2者における「琉球泡盛」の商標登録への冒認商標無効・取消係争の手続き 【沖縄県酒造組合】	当初、中国での商標について「地理的表示」を理由に登録申請が認められなかった状況だったが、2018年に「RYUKYU AWAMORI」として承認されてしまった状況があるので、その許可申請	当初、中国での商標について「地理的表示」を理由に登録申請が認められなかった状況だったが、2018年に「RYUKYU AWAMORI」として承認されてしまった状況があるので、その許可申請	冒認商標無効・取消係争等についての係争は実施しない予定。 現在中国国内で商標取得している企業(県内企業)と、使用許可について検討相談中。	取組成果を踏まえ、引き続き使用許可等について検討を予定。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

		に対して、冒認商標無効・取消係争の手続きを進めるうえで、日本貿易振興機構（JETRO）の2020年度 冒認商標無効・取消係争支援事業間接補助金を活用	に対して、冒認商標無効・取消係争の手続きを進めるうえで、日本貿易振興機構（JETRO）の2020年度 冒認商標無効・取消係争支援事業間接補助金を活用。			
--	--	---	--	--	--	--

(6) インバウンドとの連携

支援メニュー 【団体名】		概要	2021 年度	2022 年度	2023 年度	問い合わせ先
1	クルーズ船内での包括的プロモーション 【沖縄県酒造組合】	クルーズ船内で、クルーズ客を対象とした「泡盛講座」を開催し、琉球泡盛への理解増進を図るとともに、琉球泡盛の観光土産としての購入促進を図る。	コロナ禍の収束等を踏まえ、日本遺産を活用した酒蔵ツーリズム施策と連動したプロモーションを検討。	クルーズ船の寄港が無いため、プロモーション事業が実施できなかった。	乗船から下船、そして観光地周遊までを考慮した包括プロモーションを検討していく。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	地域性を兼ねた包括的酒蔵ツーリズムの展開 【沖縄県酒造組合】	観光客を対象に、地域DMOとの連携施策を図った包括的な酒蔵ツーリズムに取り組む。	令和3年度酒蔵ツーリズム推進事業を受託。インバウンド(台湾)を想定した「泡盛を楽しむ空間・時間をホテルを起点としたエリアごとで開発する「わったー泡盛ツーリズム」事業」を実施。	観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業を受託。 泡盛ツーリズムと地域の観光資源を組み合わせた有料商品・コンテンツのモニタープログラムを実施(本島、伊是名、宮古及び石垣の12酒造所)。	地区別の酒蔵ツーリズムについて、地域体制づくりを踏まえて、テストマーケを兼ねたプロモーションを開催していく。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

3	海外航空会社等への酒造所 PR【(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー】	海外から沖縄に招聘する航空会社、旅行社、メディア関係者等に酒造所を視察してもらう。	海外航空会社が運休状態のため招聘事業の実施なし。	インバウンド観光の魅力として、酒造所等の紹介による機内誌やメディア媒体での記事掲載を働きかけることを検討。	取組成果を踏まえ事業実施を検討	【(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
4	泡盛振興推進部会・海外販路開拓WT【沖縄県、沖縄県酒造組合】	外国人観光客を中心とした海外における琉球泡盛の売り方、見せ方、飲み方の提案等や現状の課題等について、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	日本遺産及び酒造ツーリズムとの有機的な運動による効率的な取組みについて、泡盛業界内での共有を行った。	令和4年度琉球文化日本遺産ガイド(中国語)養成講座に講師として参画。 泡盛の歴史・製造工程・特徴・飲み方提案等を網羅した中国語(繁体字・簡体字)の小冊子やPVを提供。	日本遺産及び泡盛ツーリズムとの有機的な繋がりを推進する。	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
5	泡盛振興推進部会・クルーズ船関連WT【沖縄県、沖縄県酒造組合】	増加する海外からのクルーズ船での琉球泡盛普及促進や入港後の酒蔵ツーリズムへの誘導等について、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	海外からのクルーズ船の寄港が全減したため、クルーズ船内及び乗客に対するプロモーション事業が実施できなかった。	2023年度に向け、(財)沖縄コンベンションビューローとクルーズ船内を含むMICE開催歓迎事業「泡盛試飲ブース設置」再開について協議を行った。	構成団体等からの意見を踏まえ、観光客をターゲットにした業界のマーケティング戦略に繋げる。	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

6	訪日外国人旅行者の受入に向けた取組 【観光庁】	琉球泡盛等の酒類を含め、様々な観光資源で活用できる事業等、インバウンドの本格的な回復に向けて集中的な取組を実施	これまでの取組を踏まえ、琉球泡盛に関する酒蔵ツーリズム等の振興を関係機関とも連携しながら実施。	インバウンドの回復に備え、琉球泡盛等の酒類を含め、様々な観光資源の活用に取り組む地域の振興に関する取組を実施。	これまでの取組みを踏まえ、事業の実施を検討。	【観光庁】 観光資源課 03-5253-8924
---	----------------------------	---	---	---	------------------------	--------------------------------

(参考) 泡盛酒造所の具体的な行動

- ・ 2023 年以降の輸出量を最大限増加させるため、泡盛酒造所は、それぞれ以下のとおり具体的な行動を行います。

事業名	概要	2022 年度	2023 年度	2024 年度
中国市場への展開	中国市場での泡盛出荷拡大を図るべく、高アルコール度数での展開を実施、同じ蒸留酒に馴染みの深い中国の上～中流階級層をターゲットに据える。	中国北部（北京、大連）における高濃度泡盛による販路開拓・拡大（PB）を現地企業にて実施。	過去３年間の取組を通じて明らかとなったノウハウ等を活かし、新たな販路の創出だけでなく認知度の向上・輸出量の増加に向けたモデル事業を創出する。	
アジア市場への展開	外国人観光客が自国に帰ってから売り上げに繋がるようなシステム作り。 県内企業と現地営業を展開。	シンガポールの販路開拓について現地コンサル企業と戦略検討。	過去３年間の取組を通じて明らかとなったノウハウ等を活かし、新たな販路の創出だけでなく認知度の向上・輸出量の増加に向けたモデル事業を創出する。	
欧米市場への泡盛の展開	欧米市場への、ハードリカーとしての琉球泡盛の展開を図るべく、ボトル等の制作、プロモーション、情報発信の強化を行う。	英語圏市場および富裕層をターゲットとしたプロジェクトを３社＋商社にて実施。 （りうぼう商事） 泡盛ジンブナーを活用した米国販路開拓事業。（ブラザー：比嘉酒造） 欧州販路拡大を実施。 （RYUKYU1429）	過去３年間の取組を通じて明らかとなったノウハウ等を活かし、新たな販路の創出だけでなく認知度の向上・輸出量の増加に向けたモデル事業を創出する。	

泡盛カクテルレシピ開発及び
レストラン展開

北米市場での泡盛出荷拡大を図るべく北米のバーテンダーに依頼して泡盛ベースのカクテルを作成。現在3店舗でメニュー掲載。イベント開催、レストラン内での泡盛（沖縄）セミナーを通じてAWAMORIを飲酒シーンに入れ込む。

ニューヨークでバーテンダーを対象にした泡盛カクテル試飲会を開催。

米西海岸（ロス、サンフランシスコ、ラスベガス）で泡盛カクテル等試飲商談会を開催。

過去3年間の取組を通じて明らかとなったノウハウ等を活かし、新たな販路の創出だけでなく認知度の向上・輸出量の増加に向けたモデル事業を創出する。